

令和5年度

大商学園高等学校 入学検査問題

国語

(50分)

注意

- * 「開始」の合図があるまでは開いてはいけません。
- * 「開始」の合図のあと、解答用紙に受験番号と氏名を書きなさい。
- * 答えはすべて解答用紙の指定された解答欄に書きなさい。
- * 「終了」の合図ですぐ筆記用具を置きなさい。

【一】次の文章を読み、後の問いに答えなさい。

①人は初対面の人と話すときに10分間に3回ウソをつくという研究結果があります。

マサチューセッツ大学で心理学を研究しているロバート・フェルドマン教授が行った実験です。初対面の被験者を集め、「10分間で親しくなってください」と伝えて話をしてもらいます。その様子をロクガシ^(a)、後から被験者にそれぞれ自分の発言で不適切⁽²⁾（「ウソ」という言いづらくなるのでこう表現したそうです）と思われる箇所を指摘してもらったところ、100人以上の実験で平均して1人3回の不適切箇所⁽¹⁾ウソがあつたと認めたのです。

この結果に驚かれる人もいるでしょう。

でも、正直なところ私の実感としては、人間はより多くのウソを、ほぼ無意識のうちに日頃から使ってしまったように思います。

【A】、そのほうが相手に対してよりよい印象を与え、会話をスムーズに進めることができる、と私たちは教育されてきているからです。ウソというと、相手を騙^{だま}したり、陥れたりするためのものであり、けしからんものと思われがちです。【B】むしろ相手とより良好な

関係を築き、互恵的なコミュニケーションをとるのにウソは必要だと、被験者たちは感じていたということ、この実験は浮き彫りにしたのではないでしょう。【C】、ウソは、自分が疑われたり、攻撃されるのを避ける「保身のため」や、好かれない、褒められた**い**という「**シヨウニン**^(b)欲求を満たすため」、さらには相手を傷つけないという「思いやり・気遣い」から生じるものも多いはず。例えば、大事な人と会う約束をすっかり失念してしまったとき、理由を問われたら「約束を忘れていました」と正直に伝えるよりも、

【X】「**X**」などと伝えるほうが、「角が立たない⁽³⁾」と思う人は多いでしょう。

新しい服を着てきた友人に対し、本心ではあまり似合っていないと思つたとしても、「それ、君には似合わないよ」ともし言つたとしたら、二人の関係はギクシャクしたものになってしまいかねないのではないのでしょうか。もちろん、**「そんなことでは私たちの友情はビクともしない」**と自信をもっている人も少なからずいるとは思いますが……。

「正直に話すことはいいことだ」と教えられてはいても、ありのままに伝えることで相手に【Y】を与えたり、いらぬ誤解を与えて面倒なことになったりという経験を繰り返して、私たちは「大人」になっていきます。本音を口にするリスクを^(c)コウリヨし、当たり障りのない

ウソをつき、会話の自然な流れを促して時間を節約し、できるだけ良好な人間関係を築くことのできる人が、社会性の高い人であると見なされること^⑤が、人間のつくる社会の暗黙のルールとして存在するのです。

(中略)

ウソという言葉が善悪で捉え、ウソを戒める倫理・道徳は古今東西、様々な形で存在してきました。これは、それだけで人間社会にウソが多いということの裏返しでもあり、人間がそのままにしておけば、フェイクに満ちたコミュニケーションばかりをとるようになりかねないという基本的な性質をもつことを考えれば、やむをえないのかもしれませんが。

とはいえ、人は確かに信じている人に欺かれると、信頼を踏みにじられた気持ちになり、深く傷つくものです。ウソは人間同士の美しい信頼関係をも破壊しうるものです。狡猾な手段で人の弱みに付け込み、ウソについて搾取しようとする人を簡単に許すべきではありません。

一方で、人間が共同体の中で生きていくには、ウソは必要不可欠である…。ウソの淵源^⑥にあるのは、単なる悪意だけでなく、私たちはその狭間で苦しみます。

この苦しみは、人間が社会性をもつて存在する種であり続ける限り、根本的には解消されることはないでしょう。この状況の中で、最も価値的なあり方をモサク^⑦するとしたら、それは正直さとウソをつくことのリスクとメリットを考え、上手に選択できる術を身に付けることの中にあるのではないのでしょうか。

私たちには考える余地が残されています。何のためにウソをつくのかを含めて、ウソ・フェイクについて考察していく中に、ウソやフェイクをより深くブンセキ^⑧し、ムダにそれらに振り回されず、容易に騙されるリスクを回避できる知恵があるのではないのでしょうか。

『フェイク』 中野信子より 設問の都合上、一部変更がある

問1 傍線部(a)～(j)の漢字はひらがなに、カタカナは漢字に直しなさい。

問2 空欄 A C にあてはまる適切な語をそれぞれ次の中から選び、記号で答えなさい。

ア そして イ しかし ウ なぜなら エ すると オ また カ きて

問10 傍線部⑥「古今東西」と同じ構成の四字熟語を次から選び、一つ記号で答えなさい。

- ア 十人十色 イ 老若男女 ウ 弱肉強食 エ 温故知新 オ 馬耳東風

問11 傍線部⑦「私たちはその狭間で苦しみます」とありますが、「狭間」を説明したあとの文章の空欄に入る言葉を指定された字数で本文から抜き出して答えなさい。

ウソは人間同士の I (八字) しうるものである一方、その淵源にあるものは II (二字) だけではなく、人間が III (二字) で生きていくには IV (五字) なものであるということ。

問12 次の文章は、本文の一部を抜粋したものです。次の文章を読み、後の問いに答えなさい。

ウソには様々な種類があります。自分を守るためのウソ、自分をよく見せて誰かに認められるためのウソ、誰かを守るためのウソ、誰かを騙し自分の利益を得ようとするウソなど、私たちの身の回りにはいろいろなウソがあります。

心理学辞典によれば、「嘘とは意図的に騙す陳述を指し、単なる不正確な陳述とは異なる」とされています。心理学者のウイ
ルソンらはウソを以下の5つのタイプに分けています。①自己保護のためのウソ ②自己拡大のためのウソ ③忠誠のウソ

④利己的なウソ ⑤反社会的・有害なウソ

・二重傍線部ではウソには5つのタイプがあると述べられています。次の⑦④は二重傍線部内の①②⑤のどのウソのタイプに分類されるか、記号で答えなさい。

- ア 周囲からねたまれないためにわざと自分は「実力」「財産」「学力」などをもっていないように装って見せる
イ 会社のため、まだ先は長いと分かっているにも「あと少しだよ」などと言って激励し、利益を出そうとする
ウ インターネットの未払いがあるなどと言い、実際には使用していない料金を支払わせようとする
エ 実際には起こっていないのに、地震により動物園からトラが逃げたとツイッターに投稿する
オ 恋愛において、相手の気をひき、好感度を上げるために自分を偽り相手の好みに合わせる

【二】次の文章を読み、後の問いに答えなさい。

真乗院に、盛親僧都じようしんそうずとて、やんAごとなき智者ありけり。芋頭いもがしらといふ物を好みて多く食ひけり。談義の座にても、大きな鉢にうづたかく盛りて、膝元ひざもとに置きつつ、食ひながら、文をも読みけり。患ふ事あるには、七日・二七日※1など、れうじ(a)とて籠り居て、思ふやうによき芋頭を選びて、ことに多く食ひて万の病を癒しけり。人に食はする事なし。ただひとりのみぞ食ひ X。極めて貧しかりけるに、師匠、死にさまに、銭二百貫※2と坊ひとつを譲りたりけるを、坊を百貫に売りに、かれこれ三万疋※3を芋頭の銭と定めて京なる人に預け置きて、十貫づつ取り寄せて、芋頭を乏しからず召しけるほどに、また、他用に用ゐることなくて、その銭皆に成りにけり。三百貫の物を貧しき身にまうけて、かく計らひける、まことに有り難き道心者なり」とぞ、人申し X。

この僧都、或法師あるを見て、しろうるりといふ名をつけたりけり。「とは、何物ぞ」と人の問ひければ、「さる者を我も知らず。若しあらましかば、この僧の顔②に似てむ」とぞ言ひ X。

この僧都、みめよく、力強く、大食にて、能書・学匠・弁舌、人にすぐれて、宗の法灯※4なれば、寺中にも重く思はれたりけれども、世を軽く思ひたる曲者③にて、万自由にして、大方、人に従ふといふ事なし。出仕して饗膳きやうぜんなどにつく時も皆人の前据すゑわたすを待たず我が前に据ゑぬれば、やがてひとりうち食ひて、帰りたければ、ひとりつい立ちて行きけり。齋・非時※5も、人に等しく定めて食はず。我が食ひたき時、夜中にも暁にも食ひて、睡ねむたければ、昼もかけ籠りていかなる大事あれども、人の言ふ事聞き入れず、目覚めぬれば、幾夜も寝ねず、心を澄ましてうそぶきありきなど、尋常ならぬさまなれども、人に厭いとはれず、万許されけり。徳の至れりけるにや。

『徒然草』第六十段より 設問の都合上、一部変更がある

※1 二七日：十四日間

※2 坊：僧の住むところ

※3 疋：銭十文を単位として数える語

※4 宗の法灯：宗派の中で重きをなす人

※5 齋・非時：「齋」食すべき時の意味、「非時」は正午を過ぎて食べること。

問1 太線部(a)～(e)を現代仮名遣いに直して答えなさい。(漢字はそのままでもよい。)

問2 二重傍線部A～Cの現代語訳として適切なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

A「やんぐ」となき智者」

ア 僧侶とは思得ない者

イ 貴重な知恵を持つ学者

ウ 不思議な力を持つ僧

エ 並々でない偉い学僧

B「召しけるほどに、」

ア お取り寄せになる間、

イ 召し上がっているうちに、

ウ 仲間をお呼びになるうちに、

エ 大量にお持ちになる間、

C「やがてひとりうち食ひて、」

ア 少し経ってから食べて、

イ そのうち、隠れて食べて、

ウ 段々、自宅で食べて、

エ すぐに自分だけ食べて、

問3 傍線部①「その銭皆に成りにけり」について。

1 結果的に「銭」は何に使われたのか、本文から二字で抜き出さない。

2 そのような行動はどのように評価されたか。本文から十字以内で抜き出さない。

問4 傍線部②「僧の顔」とあるが、どのような顔をしているか、本文から五字以内で抜き出さない。

問5 傍線部③「曲者」の意味として適切なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 寺内において重宝される優れた者

イ 自己陶酔的な見た目の良い人

ウ 周囲に気を掛けない変わり者

エ 曲がったことが嫌いな人

問6 空欄Xに入る語として適切なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア けり

イ ける

ウ けれ

エ けら

問7 次の文章は五位（大夫殿）が「芋粥を満足するまで食べたい」と言ったのを利仁としひとが聞き、それをかなえましようと言ってその場が終わった後に続く話である。この文章を読み、「盛親僧都」と「利仁」の性格の共通点を、後の選択肢から選び、記号で答えなさい。

さて、四五日ほど過ぎて、五位が自分の部屋に下がっていたところへ、利仁が来て、「さあご一緒に参りましょう。お湯を浴びに。大夫殿」と言うと、「それはとてもありがたいことですね。今夜は体が痒かゆかったところですから。ところで乗り物がありませんが」と言うと、「ここに見苦しいですが馬を用意しております」と言うと、「おお、うれしや、うれしや」と言って、薄い綿入れの着物二枚ほどを重ね、青鈍色あおにびの指貫袴ゆびぬきはかまの裾すそが破れたものをはき、同じ色の狩衣かりぎぬの肩が少し落ちたものを着て、下袴もはいていない。

(中略)

滑稽こっけいではあるが、この五位を先に立て、利仁も五位も馬に乗って賀茂の川原の方向に向かって乗りだした。五位の供には賤いやしい召使の小者さえないない。利仁の供には、武器持ち、馬の口取り、雑役夫ぞうえきふが一人ずついた。川原を過ぎて粟田口あわたぐちを通りかかると、五位が「どこへ行くのですか」と聞くので、利仁はただ、「ここだ、ここだ」と言いながら山科も通り過ぎてしまった。「これはどうしたことだ。ここだ、ここだ」と言いながら山科も通り過ぎましたぞ」と五位が言うと、「あそこ、あそこ」と言って、関山も通り過ぎてしまった。「ここだ、ここだ」と言って、三井寺にいる利仁の知り合いの僧の所へ行ったので、五位は、「ここで湯を沸かしているのか」と思うのだが、「なんと馬鹿げて遠くへ来たものかな」と思う。ところが、ここにも湯はありそうにもなかった。五位が、「どこです。湯は」と言うと、「本当は敦賀へお連れ申すのです」と言うと、五位は、「まったく正気ではない。京でそう言ってくだされば、下男なども連れて来るはずでしたのに」と言うと、利仁は嘲笑あざわらって、「利仁一人いれば、千人力とお思ってください」と言う。こうして、食事をしたりして急いで出発した。

ア 他人を驚かし、秘密裏に事を始めるのが好きな性格。

イ マイペースで、細かいことに囚われない性格。

ウ 他者の名前をあだ名で呼ぶ、人なつっこい社交的な性格。

エ 他者を援助する、慈愛の精神に満ちた性格。

問8 本文は日本三大随筆の一つであるが、その三大随筆の中で最も成立年が古いものを漢字で答えなさい。

【三】次の①～⑤の内容と一致することわざを、それぞれ後の語群から選び、記号で答えなさい。

- ① 話がよどみなく巧みなこと。
- ② 元気がなくしよげている様子。
- ③ 態度に愛想がなく冷淡なこと。
- ④ 相手の出方しだいで応じ方も変わること。
- ⑤ 手近なところに意外な事件が起こること。

「語群」ア 立つ鳥あとを濁さず イ 足元から鳥が立つ ウ 木で鼻をくくる エ 青菜に塩
オ 立て板に水 カ つめに火をともし キ 魚心あれば水心

【四】次の①～⑤の慣用句の「□」に、それぞれ漢字一字をあてはめなさい。() 内のことばは、その慣用句の意味を示しています。

- ① □が置けない(打ち解けている)
- ② □に乗る(調子に乗る)
- ③ □をさす(じゃまをする)
- ④ □に振る(努力を無にする)
- ⑤ □に衣を着せぬ(素直に言う)

【五】次の①～⑥の文の、傍線部の品詞をそれぞれ後の語群から選び、記号で答えなさい。

- ① あの木のところまで競走しよう。
- ② ぬかるんだ道をゆつくり歩く。
- ③ きれいな花が庭いっばいに咲く。
- ④ 校内放送で自分の名を呼ばれる。
- ⑤ 高い山々が遠くに見える。
- ⑥ 青く透き通った秋の空を見上げる。

「語群」ア 名詞 イ 動詞 ウ 形容詞 エ 形容動詞 オ 副詞 カ 連体詞 キ 助動詞 ク 助詞

【六】次の①～④の文の、傍線部「の」の働きとして適当なものを後の語群から選び、記号で答えなさい。同じ記号を二度以上用いてもかまいません。

- ① 遠くで雷の鳴る音が聞こえる。
- ② 秋晴れのさわやかな朝を迎える。
- ③ 梅の香のにおう道をふたりで歩く。
- ④ すぐ怒ってしまうのが彼のよくないところだ。

「語群」ア 連体修飾語を示す イ 主語を示す ウ 体言と同じ資格を与える

受験番号	
氏名	
得点	

【一】

問1	a	b	c	d
	e	f	g	h
	i	j		
問2	A	B	C	
問3				
問4			}	
問5				だから
問6				
問7				
問8				
問9				
問10				
問11	I		II	III
	IV			
問12	㊦	㊧	㊨	㊩
				㊪

【二】

問1	(a)	(b)	(c)	(d)	(e)
問2	A	B	C		
問3	1				
	2				
問4					
問5					
問6					
問7					
問8					

【三】

①	②	③	④	⑤
---	---	---	---	---

【四】

①	②	③	④	⑤
---	---	---	---	---

【五】

①	②	③	④	⑤	⑥
---	---	---	---	---	---

【六】

①	②	③	④
---	---	---	---